

■ 凍霜害対策

4月は、低温（降霜）による被害が懸念されます！！霜注意報や翌日の天気予報を参考に、凍霜害対策を実施しましょう！

「低温アラート」システムをご存じですか？

県内の果樹園地に、約50台の小型気象観測装置が設置されています。（市内6園地）観測した現在の気温を確認することができ、また、自分で設定した気温になるとメールで通知が届きます。
凍霜害対策に、ぜひご活用ください！

※ご利用は、『やまがたアグリネット』の無料会員登録が必要です。[\(https://agrin.jp/\)](https://agrin.jp/)



「低温アラート」
設定はこちらから

■ 生育初期の防除

生育状況を確認しながら、初期の防除を遅れないように実施しましょう。

・ももせん孔細菌病

開花前、風当たりの強い園地では、防風ネットを設置しましょう。伝染源となる春型枝病斑は例年4月下旬～7月上旬頃まで発生するので、発病枝は見つけ次第、基部からせん除し適切に処分します。切り口には、癒合促進のためバッチレート（3回以内）を塗布します。



せん孔細菌病春型枝病斑

・りんご黒星病

初期感染を防止することが重要であり、展葉期から1次感染の重点防除時期となることから、防除時期を逃さないように注意しましょう。防除予定日に降雨が予報される場合は、予定日をくり上げて、**雨前散布**をお願いします。



黒星病初期病斑（葉表）



黒星病初期病斑（葉裏）

■ さくらんぼ結実確保

★ さくらんぼの開花始期と満開期（寒河江市園芸農業研究所）

品種	開花始期		満開期	
	R6	平年	R6	平年
佐藤錦	4/15	4/20	4/20	4/25
紅秀峰	4/12	4/17	4/16	4/23

★かん水量の目安

1. 開花期前～開花期のかん水

土壌水分が少ないと霜害が発生しやすく、結実率の低下や初期成育の停滞にも繋がります。土壌が乾燥している場合はかん水を行いましょう。

（かん水設備がない場合、樹冠下だけでも実施）

開花期前	7～10日間隔で 20mm程度（20t/10a） たっぷりかん水
開花期	園内湿度を保つため、 乾きに応じて5～10mm程度

2. 防風ネットの設置

風当たりの強い園地は、**防風ネット（目合い2mmまたは4mmを2重にする）**を設置し風を弱めて、訪花昆虫が活動しやすい環境にします。防風ネットは多面に設置すると逆に訪花昆虫の活動を妨げるため、風上面のみに設置しましょう。降霜時は霜が溜まりやすくなるため、ネット下部を開放しましょう。

3. 切り枝の設置

開花直前の受粉樹の太い枝を切り、バケツなどに水差しをして、**園地内の受粉樹の少ない場所、受粉樹から遠い場所に設置**しましょう。

4. 人工受粉

毛ばたき受粉は、少なくとも**5分咲きと満開期の2回実施**しましょう。（右表の条件に当てはまる場合は、プラス1回実施）実施回数が多いほど効果があります。

**注意すべき
天候や園地の条件**

- ・開花期の天気が悪い場合
- ・受粉樹と開花期が合わない場合
- ・訪花昆虫が少ない、飛ばない園地
- ・雌しべの枯死が多い園地
- ・受粉樹が少ない園地
- ・昨年、早期に落葉した園地

■ 農作業事故防止

STOP 農作業事故
春季農作業事故防止運動強化期間
4月1日～6月10日

農繁期を迎えると、機械を使う機会や高所作業が増えます。作業時は事前の安全確認や適度に休憩を取り、事故や怪我のないように十分に注意しましょう！また、枝焼きや防霜資材を使用する際は、火災に注意しましょう！